

超薄型超音波センサー UF200 シリーズ :

ブラインド レンジを最小限に抑え、パフォーマンスを最大化

UF200 シリーズは UNDK で定評のあったフロントマウントタイプの超音波センサーです。UNDK シリーズでは突出したトランスランスデューサーがあったため、その分の高さがありました。UF200 シリーズではこのトランスデューサー本体に埋め込むことによりセンサーの高さ（厚み）を 20.5mm まで縮小し、これによって、これまで設置のできなかった狭い場所への設置が可能となりました。また、コネクタ接続タイプは本体と一体成型されたネジを廃止、金属に変更した事により、コネクタ脱着による摩耗がなくなりました。



多彩なラインナップ

UF200 シリーズは本体形状を同一のものとし、多彩な仕様を有しています。昨今では世界的に IO-Link が一般化しており、UF200 シリーズにおいても、その多くが IO-Link を標準装備していますが、IO-Link を必要としないアプリケーションの為に、従来のアナログ出力（電流 or 電圧）のみの仕様もラインナップしています。

最先端技術を搭載した超音波センサーポートフォリオ



UF200 は、クラス最高の性能とスマートな機能を特徴とする Baumer 社の超音波センサー ツールボックスの NexSonic®は世代の最新製品です。バウマー社の設計エンジニアは超音波センサーのコンセプトを再考し、レイアウトとプログラムされたアルゴリズムの面で実現可能なものを最大限に活用しました。その結果、先駆的な NexSonic®テクノロジーは、特殊な ASIC (特定用途向け集積回路) を使用した、革新的なセンサー設計で超音波テクノロジーを次のパフォーマンス レベルに引き上げる動的

信号評価が実現しました。Baumer 社製超音波センサーにおいて、最も短いブラインド レンジのこのセンサーは応答時間に関しても過去最高速の最大 10ms の応答スピードとなっており、これが UF200 の処理速度を大幅に高速化できる理由です。

Baumer 社の超音波センサー ツールボックスの NexSonic®は世代の最新製品です。新しい超音波技術により、Baumer 社は真のイノベーションがユーザーに付加価値をもたらすことを再び証明しています。

超音波センサー ツールボックスは、デザインとサイズが異なる 5 つの製品ファミリー UF200、U300、U500、UR12、UR18 で構成されています。UF200 はフロント マウント用ですが、U300 (角形)と UR12 (円筒形)は特に狭い設置スペースにも収まります。U500 (角形)と UR18 (円筒形)は非常に堅牢です。